



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3426S		
科目名	経済刑法		
担当教員	中村 良		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 1		
講義室	1203	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門法学		
科目の位置付け (開発能力)	<p>科目の位置付け (開発能力)</p> <p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>D P 1 -E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>D P 3 -H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>D P 4 -I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (CR) との関連</p> <p>E 1 学識と専門技能 (50%)</p> <p>H 1 論理的思考 (15%)</p> <p>H 2 批判的思考 (10%)</p> <p>I 1 理解・分析と読解 (15%)</p> <p>I 3 情報分析 (10%)</p>		
教員の実務経験	ありません。		
成績ターゲット区分	成績ターゲット区分 ■能力開発の目標ステージとの対応 3発展期~4定着期		
科目概要・キーワード	<p>経済刑法は、企業犯罪と経済取引に関する犯罪に適用される処罰規定の総体と考えられています (通説)。経済取引は、日々進化し複雑化しています。この領域の犯罪に対する抑止力も、行政的、民事的、経時的な手段が用いられています。この講義では、犯罪と法 1, 2 で学修した刑法に関する基礎知識を基礎として、経済刑法が取り扱う犯罪についてその保護法益および構成要件について講じます。この講義を通じて、そもそもどのような行為が規制対象なのか、その理由やその規制の限界について考察できるようにすることを目標とします。</p> <p>授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>(キーワード) 経済刑法、背任、横領、インサイダー取引、悪質商法、著作権侵害、脱税</p>		
授業の趣旨	<p>授業の趣旨内容</p> <p>■副題</p> <p>経済刑法の主要な法規について、その意義や目的、実際にどのようなケースに適用されるのかを学ぶとともに、経済環境・経済取引の変化に対応した規制の在り方について考えましょう。</p> <p>■授業の目的</p>		

	<p>経済刑法の主要な規定および事例についてその保護法益および構成要件に関して、その解釈と適用を中心に学修します。この講義を通じて、取引環境の変化やその背景についても理解し、予防の観点から当該規制の在り方について、客観的・批判的に検討する能力を身に付けることが、この授業の目的です。</p> <p>■授業のポイント なぜ、当該行為は規制されるのかを常に意識して学修することが重要です。</p>								
総合到達目標	<p>【一般目標】 経済刑法について基礎的な学識を涵養し、経済的な犯罪事象と刑罰法規との対応について理解するため、経済刑法解釈の特徴を知るとともに社会的要請をも認識し、経済法規を的確に解釈する技法を身に付け、その適用能力を修得する。</p> <p>【個別行動目標】</p> <p>■具体的に生起する社会的経済的事象に対し、基本的な刑罰法規に関して解釈を通じて適用することができる。(第2回～13回)</p> <p>■経済刑法の目的に基づく解釈の特徴について、説明することができる。(第1回、15回)</p> <p>■個々の経済刑法規定の目的・意味を適切に理解し、判例の知見を踏まえつつ、実際の適用について推論することができる。(第2回～第13回)</p> <p>■複雑化する経済取引に対する現行の経済刑事規制の限界を明らかにし、その課題について指摘することができる。(第2回～15回)</p>								
成績評価方法	<p>成績評価方法</p> <p>■小テスト2回(20%)：適用ループリック E1 (評価の観点)基礎的な知識や考え方が適切に理解されているかどうかを測定します。 (フィードバックの方法)実施後に、授業の中で、解説を行います。</p> <p>■リアクションペーパー12回(60%)：E1・H1・H2・I1 (評価の観点)授業内容の基本的な知識・理解のレベルについて評価を行います。 (フィードバックの方法)授業の中で、確認します。</p>								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・15回全て授業に参加することが、前提となります。 ・やむを得ない病気等による欠席については領収書等の提示により受講上配慮します。 ・就職活動については、4年生のみ「就職先が確定するまで」受講上配慮します。 								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1081 512 1128">回</th> <th data-bbox="512 1081 1490 1128">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1128 512 1529">1</td> <td data-bbox="512 1128 1490 1529"> <p>①授業テーマ 授業ガイダンス</p> <p>②授業概要 受講者は、受講上の注意、授業の対象、授業の進め方、評価方法等について理解するとともに、「刑法から経済刑法への流れ」、「法人処罰」について学修し、経済刑法を学修する意義を意義を理解し、自らの言葉で当該意義を説明できるようになる(E1)。</p> <p>③予習(120分) シラバスをよく読んでおくこと。 https://meigaku.repo.nii.ac.jp/record/1896/files/lawreview_19_13-30.pdfをダウンロードし読んでおく。</p> <p>④復習 経済刑法を学修する意義について説明できるようにしておく。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1529 512 1991">2</td> <td data-bbox="512 1529 1490 1991"> <p>①授業テーマ 会社財産を侵害する罪について</p> <p>②授業概要 業務上横領罪と背任罪について構成要件および保護法益について説明します(E1、H1・H2・I1・I3)。 受講者は、その保護法益および構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる(E1、H1・H2・I1・I3)。</p> <p>③予習(120分) 第1回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせりしておくこと。</p> <p>④復習(120分) 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1991 512 2157">3</td> <td data-bbox="512 1991 1490 2157"> <p>①授業テーマ 会社財産を危うくする罪について</p> <p>②授業概要 虚偽申述・事実隠蔽、自己株式取得、違法配当、営業外投機取引について構成要件および保護法益について説明します(E1、H1・H2・I1・I3)。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ 授業ガイダンス</p> <p>②授業概要 受講者は、受講上の注意、授業の対象、授業の進め方、評価方法等について理解するとともに、「刑法から経済刑法への流れ」、「法人処罰」について学修し、経済刑法を学修する意義を意義を理解し、自らの言葉で当該意義を説明できるようになる(E1)。</p> <p>③予習(120分) シラバスをよく読んでおくこと。 https://meigaku.repo.nii.ac.jp/record/1896/files/lawreview_19_13-30.pdfをダウンロードし読んでおく。</p> <p>④復習 経済刑法を学修する意義について説明できるようにしておく。</p>	2	<p>①授業テーマ 会社財産を侵害する罪について</p> <p>②授業概要 業務上横領罪と背任罪について構成要件および保護法益について説明します(E1、H1・H2・I1・I3)。 受講者は、その保護法益および構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる(E1、H1・H2・I1・I3)。</p> <p>③予習(120分) 第1回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせりしておくこと。</p> <p>④復習(120分) 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>	3	<p>①授業テーマ 会社財産を危うくする罪について</p> <p>②授業概要 虚偽申述・事実隠蔽、自己株式取得、違法配当、営業外投機取引について構成要件および保護法益について説明します(E1、H1・H2・I1・I3)。</p>
回	内容								
1	<p>①授業テーマ 授業ガイダンス</p> <p>②授業概要 受講者は、受講上の注意、授業の対象、授業の進め方、評価方法等について理解するとともに、「刑法から経済刑法への流れ」、「法人処罰」について学修し、経済刑法を学修する意義を意義を理解し、自らの言葉で当該意義を説明できるようになる(E1)。</p> <p>③予習(120分) シラバスをよく読んでおくこと。 https://meigaku.repo.nii.ac.jp/record/1896/files/lawreview_19_13-30.pdfをダウンロードし読んでおく。</p> <p>④復習 経済刑法を学修する意義について説明できるようにしておく。</p>								
2	<p>①授業テーマ 会社財産を侵害する罪について</p> <p>②授業概要 業務上横領罪と背任罪について構成要件および保護法益について説明します(E1、H1・H2・I1・I3)。 受講者は、その保護法益および構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる(E1、H1・H2・I1・I3)。</p> <p>③予習(120分) 第1回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせりしておくこと。</p> <p>④復習(120分) 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>								
3	<p>①授業テーマ 会社財産を危うくする罪について</p> <p>②授業概要 虚偽申述・事実隠蔽、自己株式取得、違法配当、営業外投機取引について構成要件および保護法益について説明します(E1、H1・H2・I1・I3)。</p>								

	<p>受講者は、その保護法益および構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる（（E1、H1・H2・I1・I3））。</p> <p>③予習（120分） 第2回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせりりしておくこと。</p> <p>④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
4	<p>①授業テーマ 贈賄罪について</p> <p>②授業概要 贈賄罪について構成要件および保護法益について説明します（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、その保護法益および構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる（（E1、H1・H2・I1・I3））。</p> <p>③予習（120分） 第3回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせりりしておくこと。</p> <p>④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
5	<p>第5回</p> <p>①授業テーマ 租税犯罪について</p> <p>②授業概要 租税犯罪について、その構成要件および保護法益について説明します（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、その保護法益および構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる（（E1、H1・H2・I1・I3））。</p> <p>③予習（120分） 第4回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせりりしておくこと。</p> <p>④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
6	<p>第6回</p> <p>①授業テーマ 犯罪収益、資金の規制について</p> <p>②授業概要 マネーロンダリング罪、テロ資金提供処罰法について構成要件および保護法益について説明します（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、その保護法益および構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる（（E1、H1・H2・I1・I3））。</p> <p>③予習（120分） 第5回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせりりしておくこと。</p> <p>④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
7	<p>第7回</p> <p>①授業テーマ 営業秘密の侵害について</p> <p>②授業概要 営業秘密侵害罪について、その構成要件および保護法益について説明します（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、その保護法益および構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる（（E1、H1・H2・I1・I3））。</p> <p>③予習（120分）</p>

	<p>第6回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせいりしておくこと。</p> <p>④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
8	<p>第8回</p> <p>①授業テーマ 知的財産権侵害について</p> <p>②授業概要 特許権侵害罪等、著作権侵害罪等について、その構成要件および保護法益について説明します（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、その保護法益構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる（（E1、H1・H2・I1・I3））。</p> <p>③予習（120分） 第7回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせいりしておくこと。</p> <p>④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
9	<p>第9回</p> <p>①授業テーマ 金融犯罪について</p> <p>②授業概要 不正融資、金融機関の日常業務に関わる経済犯罪、債権回収を妨害する罪について、その構成要件および保護法益について説明します（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、その保護法益および構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる（（E1、H1・H2・I1・I3））。</p> <p>③予習（120分） 第8回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせいりしておくこと。</p> <p>④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
10	<p>第10回</p> <p>①授業テーマ 証券犯罪について1</p> <p>②授業概要 証券取引委員会の役割等について説明（E1）したうえで、インサイダー取引規制、について、その構成要件および保護法益について説明します（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、その保護法益構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる（（E1、H1・H2・I1・I3））。</p> <p>③予習（120分） 第9回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせいりしておくこと。</p> <p>④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
11	<p>第11回</p> <p>①授業テーマ 証券犯罪について2</p> <p>②授業概要 相場操縦の罪、不正取引行為の罪、風説の流布等の罪、虚偽有価証券報告書等提供の罪について、その構成要件および保護法益について説明します（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、保護法益構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる（（E1、H1・H2・I1・I3））。</p> <p>③予習（120分） 第10回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせいりしておくこと。</p> <p>④復習（120分）</p>

	<p>今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
12	<p>第12回 ①授業テーマ 独占禁止法の罪について ②授業概要 公正取引委員会の役割等について説明したうえで、不当な取引制限の禁止、ケイバイ入札妨害罪について、その構成要件および保護法益について説明します（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、保護法益構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、その予防についても意見が言えるようになる（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>③予習（120分） 第11回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせいりしておくこと。 ④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
13	<p>第13回 ①授業テーマ コンピューター、ネットワークに関連する経済犯罪について ②授業概要 電子計算機使用詐欺罪、不正アクセス罪、フィッシング行為、識別符号の不正取得について、その構成要件および保護法益について説明します（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、その保護法益および構成要件について自分の言葉で説明できるようになるとともに、クラウド問題や越境アクセスについても意見が言えるようになる（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>③予習（120分） 第12回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせいりしておくこと。 ④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
14	<p>第14回 ①授業テーマ 刑法による消費者保護について ②授業概要 消費者保護の現代的必要性について説明したうえで(E1)、悪質商法対策を素材にして消費者保護にける刑事法の役割について検討する（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>受講者は、消費者保護における刑事法の役割についてその限界と問題点について自分の言葉で説明できるようになる（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>③予習（120分） 第13回の授業中に配付される資料をWEBまたは図書館等で検索収集し読み内容をせいりしておくこと。 ④復習（120分） 今回の授業内容について再確認し、自分の言葉で説明できるようにすることと、予防方法について意見を言えるようにする</p>
15	<p>第15回 ①授業テーマ 授業マトメー経済犯罪に対する制裁論 ②授業概要 これまで取り扱った経済犯罪について、そのような制裁手段がその予防として効果的なのかについて検討し(E1)、受講者各自がこの問題点に土江自分の意見をいえるようになる（E1、H1・H2・I1・I3）。</p> <p>③予習（120分） これまで使用した資料と各自のノートを参照して、問題点をまとめておくこと。 ④復習（120分） 資料・ノートを確認し、当該問題点について自分の意見をいえるようになる</p>
関連科目	<p>社会安全と法(RMGT1402)、犯罪と法 I (RMGT2331)、刑事司法手続 I (RMGT3421)、刑事司法手続 II (RMGT3424)、企業組織と法 (RMGT2352)、企業統治と法 (RMGT2353)、法学特殊講義（経済法） (RMGT2392、経済法 (RMGT2371S)</p>

教科書	教科書 『判例六法』（できれば最新のもの）
参考書・参考URL	刑法一般について：上野幸彦・太田茂『刑事法入門 改定版』（成文堂・2003） 経済刑法について：古典的参考書として芝原邦爾『経済刑法』（岩波・2000）、この分野において評価の高い専門書として芝原邦爾他『経済刑法・実務と応用』（商事法務・2017）、そのほか授業中に適時解説する。、、
連絡先・オフィスアワー	連絡先・オフィスアワー ■連絡先 開講時に告知します。
研究比率	研究比率 ■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%：パブリックセキュリティ50%：グローバルセキュリティ20%：情報セキュリティ20% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学30%：法学70%

